

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を生かした取り組み ・全家族へ会議の参加をよびかけるなどの取り組みを行なっているが、今後の議題によって多角的に意見を求めていく為にも防災などの議題の時には消防署員や消防団員、警察官への参加を依頼していくなどの取り組みを検討する。	・運営推進会議への出席者を特定せず、各方面への働きかけで、多くの方の意見を伺うようにする。年間の議題を作成し、家族にも呼びかけを行なっていく。	・通信に開催のお知らせをすると共に、参加を促す文章を添える。面会時にも、声をかけ参加を仰ぐ。不参加の時には前もって意見を伺う。 ・議題に応じたゲストをお招きする。 ・年間の会議の計画を作成し、予めお知らせをする。	3ヶ月
2	35	災害対策 ・職員が少なくなる夜間時などを想定した避難訓練の実施や近隣住民にも避難訓練などに参加してもらえるよう、今後も地域との協力体制の構築に取り組んでいく。	・夜間を想定した避難訓練を実施する。職員は個々に、日常的に災害時発生を意識して勤務に当たる。近隣住民の方には、普段の交流の中で理解を深めていただく	・消防署、近隣住民の方の協力を頂きながら夜間、昼間の避難訓練を実施する。避難訓練のみならず行事への参加や回覧板などで施設の内容を理解して頂き関心を持っていただく。	6ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 ・今後慣れ親しんだ当ホームでの終末期希望される場合も増えてくると思われることから、重度化や終末期にどこまで援助すべきなのか、出来るかなど、職員との協議や主治医からの助言も得ながらホームの指針や支援体制作りの検討に取り組んでいく。	・重度化の向けた当ホームの指針を法人、職員、家族と共に検討する。 ・介護技術のスキルアップや、体制に対応できる職員を育成する。 ・主治医の意見を伺い、支援体制の充実と確認をする。	・家族、本人の意向を聴く。ご家族の協力の可否を確認する。希望があったときは、主治医の助言を頂きながら今後について話し合いを持つ。重度化に向けて介護技術を学ぶと共に研修会などに積極的に参加をし、体制に備える。・住み替えを希望される場合には、ご本人とご家族が安心して生活が継続できるよう配慮する。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。